

どんな工事にも誠実に向き合い 確かな信頼を紡ぐ職人集団



代表取締役 澤木 昇



愛知県豊田市を拠点に、水回りの設備工事や内外装工事など、より良い住環境を提供するべく、多様なニーズに応えている『メンテル』。誠実な仕事ぶりが評価を得ており、着実に実績を蓄積している。本日はタレントの板東英二氏が、同社を率いる澤木社長にお話を伺った。

——早速ですが、『メンテル』さんでは、どのような事業を手掛けておられるのでしょうか。

当社ではつまり抜き・パイプクリーニングといった水回りの設備工事をはじめ、原状回復工事やハウスクリーニング、リフォームといった内装工事、除草・樹木伐採や外壁塗装、外構工事などの外まわりの工事を通じて、お客様により良い住環境を提供させていただいています。——幅広いニーズに応えておられるのですね。澤木社長は建設業界一筋に歩んでこられて？

ええ。学業修了後、水道設備工事会社に就職しました。数年間キャリアを積んだ後、大手住宅設備機器メーカー

『TOTO』の製品のメンテナンスを手掛ける会社に移ったんです。経験を重ねてノウハウを蓄積した後、個人事業主として仕事をお請けするようになりました。それが23歳の時ですね。

——お若くして独立を果たされましたね。予てから独立心をお持ちだったのでしょうか。

そうですね。中学3年生になったころから自分の手で事業を手掛けてみたいと考えていました。

——独立後は順調に進みましたか。

当初は苦勞もありました。「もう逃げ出したい」と思うような時もあったんです。そんな時、手を差し伸べてくれる人がいて、「やるしかない」と覚悟を決めることができました。また、前勤務先のお客様から仕事を依頼してもらえたり、お客様が別のお客様を紹介して下さったりするなど、周りの方々に恵まれたのは大きかったですね。そのお陰で、堅調な歩みを進められていると思います。

——周囲の方々に恵まれたのは、社長の謙虚なお人柄があったからこそでしょう。お仕事の上では、どのようなことを大切に

にされていますか？

一つひとつの仕事に、誠実に向き合うことを大切にしています。そしてお客様に満足していただける仕事を納める——この積み重ねが、信頼につながっていくと思いますね。当社には現在、若手を中心とした10名のスタッフが在籍しています。若さを活かしたチームワークと機動力で、日々お客様のニーズに十全に応じてくれていて、とても心強く思っていますよ。

——それは頼もしいですね！ 今後の展望はいかがでしょうか。

まずは強固な事業基盤を築いていくこと。そして私自身の経験を活かして、今後はスタッフの夢や目標をサポートしていけたらと考えています。

(2019年6月取材)



株式会社 メンテル

愛知県豊田市平戸橋町波岩 79 番地 7
URL : <https://www.mentel.jp>

「『メンテル』さんは働かれている事務スタッフの方のために、在宅勤務ができるような仕組みを整備されているなど、働きやすい環境づくりに尽力されていることが窺えました。今後もスタッフの方々と力を合わせてぜひ頑張っていたきたいですね。陰ながらではありますが、応援しています」

interviewer : 板東 英二

